

# あおもり

**特集** ごみ減量・リサイクル……………P1~2  
 10月は「木づかい推進月間」・県産品愛用応援キャンペーン・頑張る!あおもリスト… P3  
 私たちの想いで、力で、私たちの社会を変える!・被害者も加害者も出さない街づくりに参加しよう… P4  
 新しい広報事業の紹介・反射材で命を守ろう!・災害時ポケットブック紹介… P5  
 あすなろっ子健康生活改善大作戦・あなたの歯は健康ですか?・災害時ポケットブック紹介… P6  
 イベント情報・やさしい青森県史・申吾のほっとコラム…………… P7  
 済州島からの便り・インフォメーション…………… P8



情熱  
特集

## 住民が協力しながら、地域ぐるみでリサイクル活動!

かいじゆあき 海上前町内会(八戸市)の皆さん

A. 町内の「高館地区市民センター」にスチール缶やアルミ缶、段ボールなどの回収施設を設けており、町内の住民がいつでも気軽に資源ごみを持ち込めるようにしています。集団回収日は、毎月第1日曜日。町会役員や当番の班長たちが中心になって、回収施設や町内のごみ置き場の資源ごみを回収し、ごみ処理施設まで運んでいます。

Q. 集団回収の回数や回収量は? A. この3年間の回収量は、年間あたり約17~18トンとなっています。八戸市では、資源回収活動を行う団体に対し、活動実績に応じて補助金を交付する制度があり、補助金と資源ごみの代金を合わせると年間約12~13万円になります。それによって、町内会費を月額350円に抑え住民の負担額を減らすことができます。住民も頑張った結果が自分たちに還元されることで励みになるし、やりがいを持って取り組んでいます。

Q. どんな活動を、いつ頃から? A. 私たち「海上前町内会」は、22年前から町内の家庭から出される資源ごみの回収活動を行っています。最初は町内の子ども会が回収を始めたのですが、それをきっかけに町内会として本格的に活動を開始。以来、住民一人ひとりが協力し合いながら、地域ぐるみでリサイクルとごみの減量化に取り組んでいます。



Q. このたび、環境大臣表彰を受賞されましたが、今後の活動にどのように活かしていきますか? A. 住民一人ひとりが協力しながら、長年取り組んできた結果が評価され、大変喜んでいますが、これを励みにさらに町内が一丸となって頑張っていきたいですね。最近では、近隣の町会でも回収活動を始めるなど、少しずつリサイクルの輪が広がっているのもうれしいこと。多くの人に関心を持ってもらい、活動が広がってほしいですね。

Q. リサイクル率はアップのために、できることは? A. リサイクルは日々の積み重ねですから、継続していくための工夫が必要です。たとえば、うちの回収施設は24時間オープンしており、住民それぞれの生活時間に合わせていつでも自由に利用できるようにしています。また、年間スケジュールを組んで回収当番の班を決め、毎月、回収板でお知らせしています。回収を業者任せにせず、住民主体で行うことでリサイクルが身近に感じられ、活動を通じて近所のコミュニケーションも深まります。子どもたちも、家庭のなかでごく自然に「ごみ」を分別する習慣が身に着くので、地域全体の環境教育や環境づくりにも役立っていますね。

Q. リサイクル率アップのために、できることは? A. リサイクルは日々の積み重ねですから、継続していくための工夫が必要です。たとえば、うちの回収施設は24時間オープンしており、住民それぞれの生活時間に合わせていつでも自由に利用できるようにしています。また、年間スケジュールを組んで回収当番の班を決め、毎月、回収板でお知らせしています。回収を業者任せにせず、住民主体で行うことでリサイクルが身近に感じられ、活動を通じて近所のコミュニケーションも深まります。子どもたちも、家庭のなかでごく自然に「ごみ」を分別する習慣が身に着くので、地域全体の環境教育や環境づくりにも役立っていますね。